

## あとがき

「核データニュース」を9カ月ぶりによくお届けすることになりました。年4回発行のところ、昨年度はNo 16を発行しただけで誠に申し訳なく思っております。この間、「No 17が来ない」とのお問い合わせもいたゞいたりして全く恐縮しております。言訳は多々ありますが、何と言っても最大の原因は人手不足です。本誌の編集を片手間でやっているため、本業の方が忙しくなるとついつい後廻しになってしまうわけです。多くの方々から同情をいたゞいているものの、このように発行が長期に亘って遅れてしまつては、「ニュース」誌としては全くの失格で申し訳ない次第です。今後、発行時期は最大限に守るよう心掛けるつもりです。また、編集の体制や方針も抜本的に検討したいと考えております。

原子力学会の際に、「シグマ特別専門委員会」および「炉物理特別専門委員会」の主催で「核データ・炉物理合同特別会合」を開催することがこのところ定着した形になっています。本誌ではひと頃、その時の講演内容を原稿にいたゞいて掲載してきたのですが、「特別会合」ではその時々話題や国際会議の報告が主に採り挙げられるせいもあってか、ほとんど同じものを原子力学会誌へ寄稿される場合が多く、本誌に改めて執筆していただくことが困難になってきました。一時は、本誌の「話題」欄に恰好の原稿が容易に頂けて大助かりだったのですが、また新たなタネを探さねばならなくなりました。発行が遅れた言訳とともに、この際ニュース誌の役割をもう一度考えてみたいと思っています。また、シグマ委員会の活動状況の紹介もご要望に応じて採り挙げてゆきたいと考えています。

(編集係 浅見 哲夫 記)